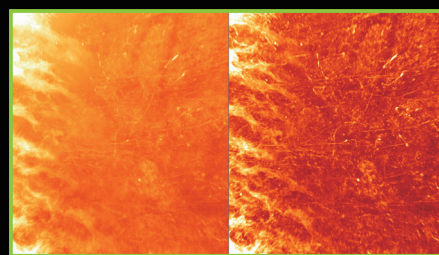
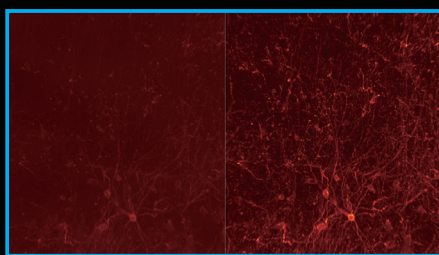
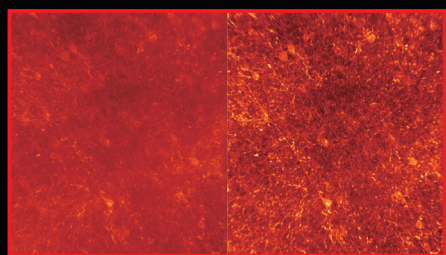
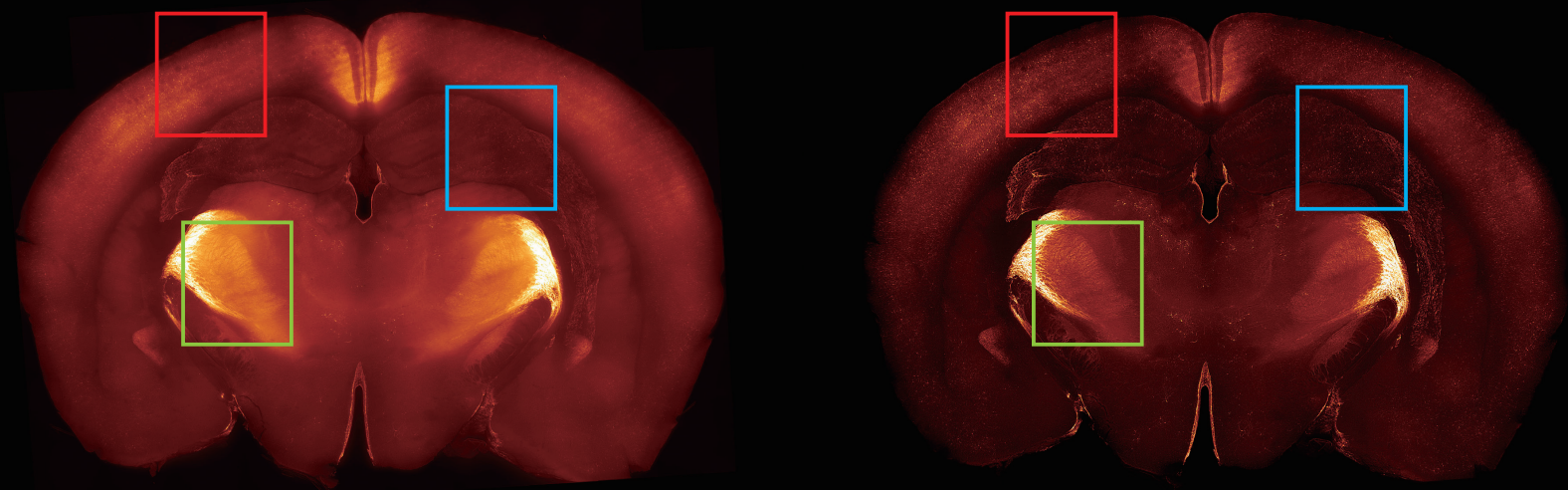


深部まで、美しく。
細部まで印象的に。



※左:スピニングディスク 右:THUNDER Spinning Disk

データのご提供: 順天堂大学大学院医学研究科 脳回路形態学 高橋 慧 様, 濱本 真優 様, 日置 寛之 様



THUNDER Imager Cell

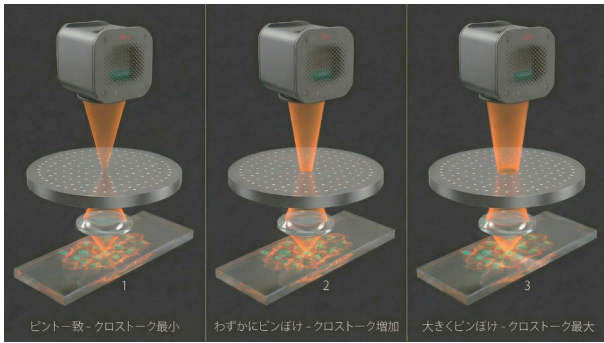
Spinning Disk

- THUNDERのアルゴリズムで
蛍光のぼけを除去
従来のSpinning Diskの課題であった蛍光のぼけを除去
- 倍率関係なく、
いつでもクリアな画像を提供
低倍も高倍も1枚のディスクで対応

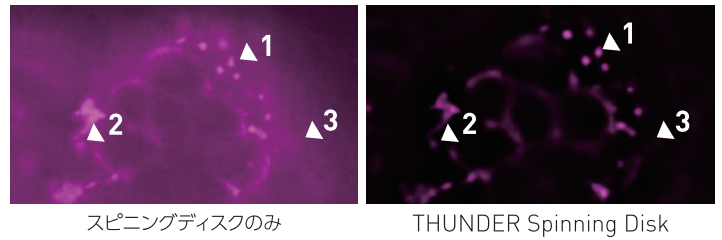


脳スライスのMovie

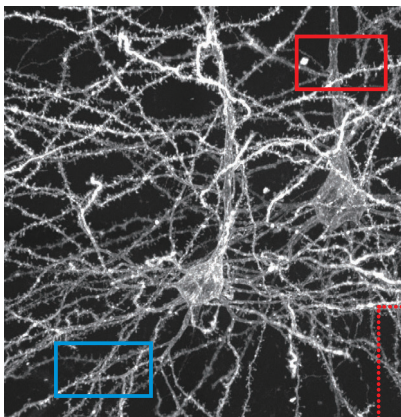
THUNDERのアルゴリズムで蛍光のぼけを除去



通常のスピニングディスクではピント面から外れた光が漏れこんできます。新しいTHUNDER Spinning Diskではそれらの光の漏れ込みを除去することができます。

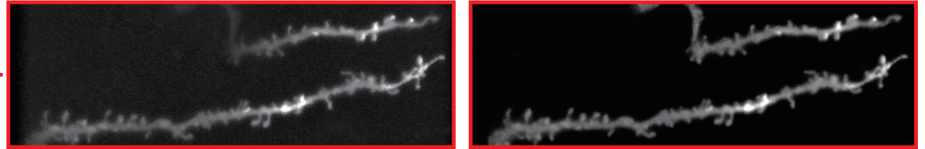


倍率関係なく、いつでもクリアな画像を提供

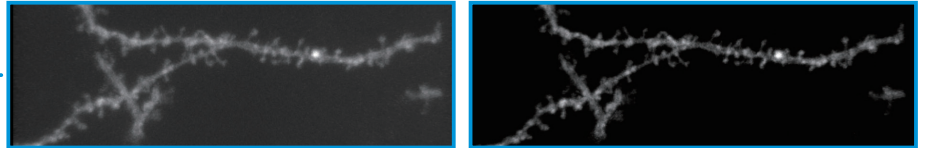


40xで取得したZスタック画像では、アウトオブフォーカス由来の蛍光ボケが効果的に除去され、表層から深層までスパインが消失せず残ります。均一な解像と高S/Nにより、枝分かれや形状が焦点深度の違いによる情報欠落が最小化されます。また弱発光シグナルも埋もれることもありません。樹状突起スパイン研究の再現性と解像度の両立を実現します。

表層付近 30 μ m付近 Z-Stack 10枚 Max Projection



深層付近 170 μ m付近 Z-Stack 10枚 Max Projection



左:スピニングディスクのみ

右:THUNDER Spinning Disk



お客様のお声



スピニングディスク型顕微鏡を用いることで、グリセリン浸レンズの高い光学分解能と長い作動距離を活かしながら、共焦点レーザー走査型顕微鏡と比較して大幅に高速な画像取得を行うことができました。さらに、THUNDER処理を組み合わせることで、200 μ m厚のスライス標本の深部においても樹状突起スパインを明瞭に分離して観察することができました。

広い視野を高速に、また厚みのある組織標本に対しても安定して観察が可能であることから、全体構造の把握から微細構造の同定まで幅広いイメージングを実現できると感じました。

順天堂大学大学院医学研究科 脳回路形態学 高橋 慧 様



ライカ マイクロシステムズ 株式会社

本社 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-29-9 Tel.03-6758-5656 Fax.03-5155-4333

<https://www.leica-microsystems.com/jp/> Email: lmc@leica-microsystems.co.jp

*商品のデザイン、仕様、外観、価格は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。



お問合せはこちら